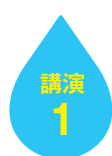


# 地域健康生活 支援セミナー2023

今年で3回目を迎えます「地域健康生活支援セミナー」。  
今回は地域の健康拠点となる薬局を目指した経営をおこなっている、  
地域密着型薬局での在宅療養患者へのケアの実践の様子と、  
夏本番を迎え、多くの方が陥る脱水症・熱中症に関する  
情報提供の2題をお届けします。



## 薬剤師が関わるべき在宅療養 の第一歩と活動の実際 ～在宅や地域で出会う脱水症・熱中症への 対応もふまえて～

6年制の薬学部が続々新設され、薬局薬剤師の数は18万人(2020年)を超えてきており、今後ますます薬剤師数は増加する見通しとなっています。「患者のための薬局ビジョン」を実現していくために、これら薬剤師の本来持っている機能を余すことなく発揮することが必須であると考えられます。患者や家族の望んだ在宅医療の達成において、薬剤師が果たしたい役割と考え方について解説します。

座長: 吉岡ゆうこ 一般社団法人日本コミュニティファーマシー協会代表理事 / 有限会社ネオオフィス研究所所長

演者: 漆畑俊哉 株式会社なかいまち薬局代表取締役 在宅療養支援認定薬剤師 博士(薬学)



2006年、東京薬科大学を卒業後、大学院へ進学。生化学、細胞生物学などの研究を行っていたが、直接患者さんへ「健康を提案」として考え、薬局薬剤師・薬局経営を目指すようになる。現在、株式会社なかいまち薬局の代表取締役として、かかりつけ薬局を主眼とした3店舗を展開している。

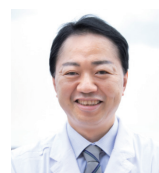


## それって脱水のサインですよ! ～水・電解質管理の基礎を知って、 症状から脱水症・熱中症を疑う～

脱水症・熱中症の怖いところは、気付かないうちに進行して、緊急搬送が必要になったり、命を脅かしたりする状態に至ってしまうことです。また、そこまで進行しなくても、日常生活や治療の継続を妨げる原因となることがあります。しかし、脱水症は早い段階でそのサインに気づき(脱水症を疑い)、すぐに対処することができる病気でもあります。本講演では、脱水症・熱中症の対策と対処に必要な水・電解質管理の基礎、および早い段階で脱水症に気付くためのサインとその対応の根拠を解説します。

座長: 浜田康次 一般社団法人日本コミュニティファーマシー協会理事 / アポクリート株式会社顧問

演者: 谷口英喜 済生会横浜市東部病院 患者支援センター長 兼 栄養部部長 / 東京医療保健大学大学院 客員教授 医学博士



麻酔・集中治療・周術期管理の専門家として、平成30年 日本臨床麻酔学会小坂二度見記念賞(年間アワード)を受賞するなど数多くの受賞歴がある。本邦における脱水症の第一人者であり、多くの著書やメディア出演など、脱水症・熱中症に関する情報を積極的に発信している。著書:「臨床栄養別冊 はじめてとくも水・電解質の管理 基礎編 水分管理の基礎と経口補水療法」(医歯薬出版2021年6月)など多数あり



薬剤師・登録販売者・管理栄養士など、特に医療福祉に従事する専門職 薬科大学・薬学部の学生



薬剤師研修センター認定単位1単位 または  
小児薬物療法認定薬剤師研修1単位  
※単位取得のためには薬剤師研修・認定電子システム(PECS)への登録が必要です。  
※PECS登録についての質問は当方ではお受けできませんので、日本薬剤師研修センターへお問い合わせください。  
※聴講時間はログで確認させていただきますので、個人でのお申込みと、個人での聴講が必要です。  
※参加者様側のインターネット環境の不備等により聴講ができなかった場合、あるいは聴講時間が不足していた場合等は、単位取得はできませんので予めご了承ください。



## リアルタイム配信による オンラインセミナー



6月7日(水)  
19:20 ~ 21:10



お申込はこちらから

[https://zoom.us/webinar/register/4416808327132/WN\\_6AU0ndXLQhyeerbiWI986w](https://zoom.us/webinar/register/4416808327132/WN_6AU0ndXLQhyeerbiWI986w)



共催: 一般社団法人日本コミュニティファーマシー協会 株式会社大塚製薬工場 株式会社エニイクリエイティブ メディバンク株式会社  
配信に関する問合せ: メディバンク株式会社 電話: 050-1790-1515 (平日10:00~18:00) MAIL: info@medi-banx.com  
(研修受講単位についての問合せは 電話: 03-6273-2236)